

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくし学園			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年11月5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年11月5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどもの身辺自立に向けての支援を中心に行っていること。	・こどもの生活の場として、安心して過ごせる環境づくりを心がけています。 ・こどもの生活リズム等を細やかに観察し、丁寧に支援しています。 ・絵カード等を用いることで、こどもが見通しを持って行動できるよう支援しています。	・PDCAサイクルを意識しながら、個々のこどもに応じた丁寧な支援を行ってまいります。 ・職員研修等を通じて、職員の資質向上に努めてまいります。
2	・給食サービスを提供していること。	・栄養士が作成した献立に基づき、施設内で調理し、提供しています。 ・こどもが色々な食材に触れる機会を提供しています。 ・こどもの食事の好み等にも配慮しながら支援しています。	・栄養士、調理員との連携を図りながら、給食サービスをより充実していけるよう、努めてまいります。 ・個々のこどもの状況に配慮しながら、支援してまいります。
3	・丁寧な保護者支援を実施していること。	・連絡ノートを活用したり、日々の送迎時や、面談、保護者懇談会等を通じて、保護者の方とのコミュニケーションを大切にしています。 ・ペアレントトレーニング講習会を実施しています。 ・親の会の活動についても、職員が支援しています。	・職員研修等を通じて、より充実した保護者支援を図れるよう、今後も努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設の経年劣化が進んでいること。	・随時修繕は行っていますが、市予算に限りがあるため、全面的な改修が難しい状況にあります。	・施設の改修、移転等に関する計画の策定及び予算の確保が必要です。 ・安全点検を行い、危険箇所や修繕が必要な箇所については、補修してまいります。
2	・リハビリテーション専門職による個別支援の実施回数が少ないこと。	・作業療法士は他部署からの派遣、言語聴覚士も嘱託のため、実施できる日が限られています。	・回数、内容について、より充実できるよう努力してまいります。
3	・サービス提供内容について、柔軟な対応が難しいことがあること。	・公立公営ということもあり、サービス提供内容については、柔軟に変更しづらい面があります。	・公立施設としての公平性も保ちながら、サービス提供内容の充実を図るよう努力してまいります。利用される方のニーズの把握にも努めてまいります。